**（３）グループワーク「日頃よくあることを「ビジネスと人権」の視点で考えてみる」**

Ⅰ．ワーク１

|  |
| --- |
| （１）（２）を踏まえ、ビジネスと人権という視点からみたときに、これまでに自身が経験した（見聞きした）事例の中で、気になること、疑問に思うことはありましたか？ |

個人ワーク

↓

グループワーク・共有

↓

発表

Ⅱ．ワーク２

|  |
| --- |
| 事例研究  主に衣料品を取り扱うW社は、O社に製品製造を委託、O社は自社の下請企業であるK社に製造を再委託し、実際の製造はK社が行っていた。  K社は人手不足を補うため外国人技能実習生を受入れ、主に最低賃金で雇用していたが、月100時間を超える時間外労働、休日労働が常態化していた（休日は月に２～３日しかとれていなかった）。しかし、K社はこれらの時間外労働、休日労働に対する割増賃金を支払っていなかったため（一部の支払いはあったが、法所定の割増率で計算したときに得られる金額を大きく下回っていた）、当該外国人技能実習生は会社に支払いを求めたものの、K社は不足額を支払うことはなかった。このため、当該外国人技能実習生は、外国人技能実習生を支援するNPO法人に支援を求めた。  当該NPO法人は労働時間や賃金の支払い状況を確認、外国人技能実習生に同行してK社の所轄労働基準監督署に相談した結果、マスコミ報道されたこともありK社の違法残業や未払い賃金の存在が明るみに出るところとなった。K社は未払残業代を段階的に支払う約束をしたものの、その直後に倒産、支払いが困難になっていた。  W社はK社の未払残業代を補償することを表明した。 |

個人ワーク

↓

グループワーク・共有

↓

発表